

外皮用殺菌消毒剤

1999年12月改訂
(新様式第1版)

日本薬局方

マーキュロクロム液

Mercurochrome Solution

500mL



東海製薬株式会社

名古屋市中川区江松一丁目105

貯 法：遮光した気密容器
使用期限：ラベルに記載

日本標準商品分類番号	872619
承認番号	(61AM)1854
薬価収載	1955年9月
販売開始	1955年9月
再評価結果	1992年6月

【禁忌】(次の患者及び部位には使用しないこと)

1. 本剤又は他の水銀製剤に対し過敏症の既往歴のある患者
2. 臍帯ヘルニアの小児
3. 粘膜面
4. 口に触れる可能性のある部位(乳頭等)の消毒

【組成・性状】

1. 組成

本剤100 mL中にマーキュロクロム 2 g(2 w/v%)を含む。
本剤は水銀(Hg) 0.42 ~ 0.56 w/v%を含む。

2. 性状

本剤は暗赤色の液である。

【効能・効果】

皮膚表面の一般消毒、創傷・潰瘍の殺菌・消毒

【用法・用量】

皮膚表面の一般消毒には2%液を、創傷・潰瘍の殺菌・消毒には0.2 ~ 2%液を用いる。
いずれも症状に応じ1日1 ~ 数回患部に適用する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

使用量はできるだけ必要最小量にとどめること。

2. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。



包 装



キャップ: PP
中 栓: PE

(1) 重大な副作用

ショック(頻度不明)

ショックを起こすことがある。呼吸困難、血管浮腫(喉頭浮腫等)、蕁麻疹等のアナフィラキシー様症状を伴うことがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には、使用を中止するなど、適切な処置を行うこと。

(2) その他の副作用

1) 過敏症(頻度不明)

発疹、蕁麻疹、痒痒、紅班、小水疱等があらわれることがあるので、このような症状があらわれた場合には、ただちに使用を中止すること。

2) 長期・広範囲使用(頻度不明)

腎障害、骨髄抑制等の水銀中毒を起こすことがあるので、長期間又は広範囲に使用しないこと。

3. 適用上の注意

(1) 投与経路：外用にのみ使用すること。

(2) 使用時：

- 1) 眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には水でよく洗い流すこと。
- 2) 深い創傷に使用する場合の希釈液としては、注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
- 3) 希釈する水にアルカリ土類金属塩、重金属塩、第二鉄塩、酸類、ヨウ素等が存在する場合、変化することがあるので注意すること。

【取扱い上の注意】

配合変化：

酸、酸性塩、重金属、過酸化水素、還元剤との配合は禁忌。

アルカロイド類、局所麻酔薬などで沈殿を生じる。

製造番号

使用期限

JAN

GS1-RSS



4